

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	森林学習交流館	所在地	秋田市河辺戸島字上祭沢38番地の4
指定管理者	株式会社サンアメニティ	県所管課	森林環境保全課 調整・森林環境チーム

1 施設の概要														
設置目的	森林・林業に関する学習及び研修機会を提供するとともに、林業従事者等の交流を促進することにより、県民の森林・林業に関する意識の高揚を図り、もって本県林業の振興に資する。													
県の施策上の施設の位置付け	なし													
設置年	平成7年	経過年数	31年	目標使用年数	60年	残年数	29年	施設面積	土地面積196,400㎡、建物床面積(延床)4,630.4㎡					
施設の設置状況	宿泊施設、会議室、研修室、レストラン													
県内類似施設	仁別森林博物館(東北森林管理局・秋田市)					東北各県類似施設	岩手県林業技術センター(岩手県)、山形県立農林大学校(山形県)							
施設の基本的な方針(個別施設計画)	方向性	方向性に向けた対応												
	存続	当該施設は、県内唯一の森林・林業に関する研修・学習施設であることから、必要な修繕を実施し存続する。												
料金制	利用料金併用制	主な料金設定		別添資料のとおり										
指定期間	令和8年4月1日 ~ 令和13年3月31日 (5年間)					営業期間・時間	通年営業							
指定管理業務の内容	森林学習交流館に関する次の業務 ①使用の許可、使用の許可の取り消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 ②本施設及び設備の維持管理に関する業務 ③森林及び林業に関する学習に関する業務					自主事業の内容	1. 森の学校(年間14回) 2. 土用の丑の日はうなぎ 3. 年末大抽選会 4. クリスマスチキン販売 5. 大晦日限定オードブル 6. あったかフェア							
サウンディング実施対象	×	年間利用者数(人)	R3	R4	R5	R6	R7	年間利用収入(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	
			39,117	46,456	52,659	48,511	50,231		29,447	47,974	55,644	49,642	51,936	
収支決算(千円)	収入	項目	R3	R4	R5	R6	R7	増減要因の分析						
		利用料収入	29,477	47,974	55,644	49,642	51,936	年間利用者数	前年に比べ飲食部門で1,160名、学習の森314名、展示室204名、会議室81名の増、微量ではあるが3.54%のアップとなった。					
		指定管理料	34,411	28,243	28,243	28,243	28,243							
		その他収入					1,329							
	合計	63,888	76,217	83,887	77,885	81,508								
	支出	人件費	38,458	38,458	35,862	35,862	35,862	収支決算	収入は2,294千円増、利用者数増の飲食部門で2,149千円と多く、続いて会議室部門が500千円で全体では4.62%アップであった。支出では物価高騰の中、節約に努め前年並みに抑えることが出来たが、飲食部門の費用が抑えられず前年より多くなってしまった。					
		光熱水費	19,566	24,105	25,855	24,639	24,670							
		修繕費	2,252	2,524	2,559	2,813	2,228							
		委託料	10,244	10,120	9,991	10,293	10,195							
		その他支出	14,218	18,342	19,159	15,485	16,179							
合計	84,738	93,549	93,426	89,092	89,134									
収支差	▲20,850	▲17,332	▲9,539	▲11,207	▲7,626									

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	森林学習交流館	所在地	秋田市河辺戸島字上祭沢38番地の4
指定管理者	株式会社サンアメニティ	県所管課	森林環境保全課 調整・森林環境チーム

2 <観点I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

運営方針・施設の利用目標	施設の設置目的である、県民の森林及び林業に関する意識の高揚を図るため、指定期間において森林・林業に関する学習やチェーンソー講習会等のイベント開催を重点的に取り組む。				
目標・実績	目標の内容	利用者数50,000人			
	年度	R5	R6	R7	増減要因の分析
	目標	60,000	50,000	50,000	団体等に対するダイレクトメールや、利用希望者への空き状況の情報提供を行い、わずかではあるが約0.5%増で目標を達成した。
	実績	52,659	48,511	50,231	
	達成率	87.8%	97.0%	100.5%	
具体的な取組とその効果	学校団体等での森林学習、会社や協会等での講習・研修では、予約希望日が重なることが多く、平日は会議室の空きが無い時期もあり日程調整をお願いしている。				
次年度の目標	目標の内容	利用者数 50,000人			
	設定の根拠	目標達成率が100.5%とわずかな値であること、新年度の会議室利用や森林学習を行う学校団体は行事に組み込まれていることから、残りの利用者について、個人客等を前年度並みに確保することとし、50,000人を目標数とする。			
<観点I> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）		
	指定管理者	A	辛うじて目標数は達成しておりA評価としたが、更なる利用者増と売上増になるよう努めなければならないと考えている。		
	県所管課	A	コロナ禍により減少した施設利用者数は回復基調にあり、目標を達成したものの、令和元年度以前の水準には戻っていない。昨今の物価高騰に伴い令和8年度から利用料金を約2割ほど上げており、令和7年度と同程度の利用者数を確保した場合、赤字が解消されるものと見込まれることから、まずは令和7年度と同程度の利用者数を確保し赤字を解消すると共に、森林学習等の開催について広くPRし、その後は、コロナ禍前の年間利用者数6万人台を目指してもらいたい。		

3 <観点II> 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

利用者満足度の実績	年度	R5	R6	R7	増減要因の分析
	実績 (%)	82.5	87.2	91.6	利用者のニーズとスタッフの情報共有を行っている。
	具体的な取組とその効果	レストランではボリュームのある品や、年配の方々も食べられるような内容で日替りランチや季節限定メニューを提供している。			
<観点II> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）		
	指定管理者	A	レストラン飲食部門は、利用数・売上が増えてる傾向がみられるためA評価としている。宿泊や会議室等は更に利用者の満足度を高め増員増収につなげなければならない。		
	県所管課	A	物価高騰等により質の高いサービスの提供が困難な状況にある中で、利用者のニーズを把握し、利用者満足度を高め利用数・売上が増加傾向にある。しかしながら、コロナ禍以前の状態までは回復していないため、宿泊や会議室等と合わせて利用者の満足度を高め、増員・増収につなげていただきたい。		

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	森林学習交流館	所在地	秋田市河辺戸島字上祭沢38番地の4
指定管理者	株式会社サンアメニティ	県所管課	森林環境保全課 調整・森林環境チーム

4 <観点Ⅲ> 県民サービス及び業務効率性の向上と公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

モニタリング項目	モニタリング項目		主な視点	指定管理者	県所管課
	①	②			
モニタリング項目	管理運営体制	① 職員の配置状況	事業計画書等に照らして適切な職員配置となっているか 等	A	A
		② 職員の勤務実績	事業計画書等に照らして適切な勤務実績となっているか 等	A	A
		③ 職員の処遇等	職員の処遇が労働法規に反していないか 等	A	A
		④ 施設等の適切な管理	事業計画書等に照らして日常的な保守管理や定期点検、清掃、警備、修繕等がなされているか 等	A	A
		⑤ 備品の適切な管理	備品の紛失・損傷はないか 等	A	A
		⑥ 個人情報の保護	個人情報取扱特記事項が遵守されているか 等	A	A
		⑦ 安全・安心の確保	事故防止マニュアルや緊急時連絡体制を整備しているか 等	A	A
		⑧ 経費の低減・収入の増加	経費の低減や収入の増加の取組が進められ、前年度と比較し、施設の収支状況が改善されたか 等	B	B
		⑨ 健全な経営	指定管理者選定時の財務指標と比較し、特段の経営の悪化がみられないか 等	B	B
	サービス向上	① 開館日・開館時間等	事業計画書等に照らして適切な開館状況となっているか 等	A	A
		② 業務の実施	事業計画書等に照らして適切な業務が実施されているか 等	A	A
		③ 施設の使用許可	事業計画書等に照らして適切に使用許可がされているか、優先的又は不利益な取り扱いはないか 等	A	A
		④ 職員の接客	丁寧な対応や挨拶がなされているか、名札着用や適正な服装をしているか 等	A	A
		⑤ 広報・利用情報の発信	ウェブサイトやSNS、パンフレットなど、多様な媒体により積極的な広報を実施しているか 等	A	B
⑥ 利用者の相談・意見・苦情		ウェブサイトや電話等による相談窓口を整備し、利用者からの相談・意見・苦情への対応策を講じているか 等	A	B	
⑦ 課題への対応		利用状況のほか、満足度調査等から課題を抽出し、対応策を講じているか 等	A	A	

<観点Ⅲ> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）
	指定管理者	A	指定管理者として、運営を開始してから再応募をして15年目となりました。施設も毎年計画的に老朽化対策を行ってきており、昨年も修繕対策箇所以外での漏水や天井裏に設置されている空調関係の漏水、それに1、2号機ボイラーの相次ぐ故障や落雷による修理が発生しております。そのため使用制限などで対応しておりますが、経年による様々な不具合が生じており、修繕を繰り返しながら運営している状況です。また、近年の気象変動などに起因する雨漏りなどが毎年発生しており、こまめな修理や清掃管理を行いリスクアセスメントに取り組んでおります。そのほか、ホテル関係では人口減少に起因する大口の連泊客やスポーツ交流などの連泊客などの宿泊利用者の減少、それに会議と招宴の減少化を余儀無くされながら、継続的に宿泊、レストラン、宴会、会議などの利用促進の努力を傾注してまいりました。そのため、利用者向上対策として旅行会社を拡充し、工事関係者の継続誘致と最近減少傾向にある宴会や会議を誘致し、経営の基礎となる収入源を拡充する努力を継続しました。そのほか、当該施設の特徴として、観光やビジネスで利用する施設とは違い、宿泊者は森林・林業に関する研修等のほか国際教養大学に起因する勉強合宿やスポーツ関係の宿泊などに依存することが主要な施設ですので、宿泊プランやレストランに於けるサービスの提供要領などを工夫して利用者推進の努力を継続して利用者拡大に努めました。
県所管課	A	施設の供用開始から30年が経過し、設備等の不具合が発生してきている。令和7年度は1、2号ボイラーのほか、落雷により故障した電話交換機の改修を行ったところである。雨漏りについては、令和8年度に屋根部分の大規模修繕を行い解消する見込みとなっており、今後も、県が行う大規模修繕については、指定管理者と相談しながら計画的に実施していきたい。人口減少に起因する利用者の減少や一般的なホテルの利用形態である観光やビジネスなどと異なり、森林・林業に関する研修、大学及びスポーツ関係の利用者が多く、指定管理者の努力によって、利用者の増加が図られている。引き続き、森林・林業に関する研修等の利用者数を増やす取り組みのほか、一般利用者の増加のためのPRの仕方についても指定管理者と検討していきたい。	

指定管理者制度導入施設評価票
 評価対象年度【令和7年度】

施設名	森林学習交流館	所在地	秋田市河辺戸島字上祭沢38番地の4
指定管理者	株式会社サンアメニティ	県所管課	森林環境保全課 調整・森林環境チーム

5 県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方

県の施策の達成状況	年間イベントである「森の学校」はリピーターも多く、利用者から好評を得ているほか、森林教室や自然観察会等の開催が年間44件、参加者数は1,000人超えるなど、県民の森林・林業に関する意識の高揚を図り、もって本県林業の振興に資するという県の施策実現に寄与している。
施設運営の課題	施設が老朽化し、外壁塗装、高圧電気設備関係機材の更新及び各種設備の修繕等が必要な状態となっており、大規模修繕の緊急度が増している。
今後の方向性	令和6年度に50,000人を割り込んだ施設全体の利用者も回復し、利用者満足度も上昇しており、91.6%と非常に高い数値となっている。物価高騰にもかかわらず管理運営体制やサービス向上に向けた取組が適切に実施されたことの結果と考えられる。令和8年度は周辺フィールドの整備による利用者の安全の確保と施設の屋上防水工事による長寿命化を図ることとしており、引き続き、施設の老朽化に起因する不具合箇所の修繕を行い施設全体の環境整備を進めていく。

6 外部有識者委員会による評価（提言）

評価(提言) 令和●年度	施設の管理運営状況	
	県の施策達成に向けた施設運営	
評価(提言)を踏まえた対応方針 令和●年度	指定管理者	
	県所管課	
対応方針の進捗状況 令和●年度	指定管理者	
	県所管課	